

## Sunshine 第10回 Lessons

### Lesson 10-1: 一般動詞の肯定文② (he / she / it / this / that)

主語が he / she / it / this / that (または、Kenta / Sakura / that car のように、これらの代名詞に言い換えられる名詞) の時の、現在形の一般動詞の文は「3人称・単数・現在形」というところから、「3単現」と言われることがあります。3単現の肯定文は、主語が I / you / we / they の時と基本的に同じなのですが「一般動詞の語尾に s または es を付ける」といった特徴があります。

#### 【一般動詞の肯定文 (現在形②) <he / she / it / this / that> : 基本の形】

He  
She  
It + 一般動詞 s/es (+目的語) (+～) .  
This (○○)  
That (○○)

<例> He runs every morning. (彼は、毎朝走ります)  
She teaches science. (彼女は科学を教えます)  
That dog likes this ball. (あの犬はこのボールが好きです)  
My brother \*wants to play soccer. (私の兄はサッカーをしたいと思っています)

\*want to ~ の場合、s や es がつくのは、want のみとなる。

<例> He wants to eat this. (彼はこれを食べたいと思っています) <He wants to eats this. = ×>

#### 【一般動詞に s / es を足すルール】

##### 1. s を足す場合 = 大部分の一般動詞

<例> He runs every morning. (run → runs になる) <彼は毎朝走ります>  
She likes Japan. (like → likes になる) <彼女は日本が好きです>

##### 2. es を足す場合 = 基本的に名詞の複数形に es をつけるルールと同じ

#### 《名詞の複数形に es をつけるルール》

- ・ 単語の最後の文字が s / o (ただし「子音 + o」), x, sh, ch の時  
<覚え方: ソックス(sox)をシュッチュ(sh, ch)と洗う>
- ・ 単語の最後の文字が「子音 + y」の時は、y → i にして es

<例> He teaches science. (teach → teaches になる) <彼は科学を教えます>  
Yoshiko does her homework every day. (do → does になる) <ヨシコは、毎日宿題をします>  
She studies Japanese with Jiro. (study → studies になる) <彼女は日本語をジロウと勉強します>

### 3. 例外の形: have → **has** (haves =×)

<例> Kenji has a dog. (have → has になる) <ケンジは犬を飼っています>

\*Sapporo has many beautiful parks. (have → has になる)

<札幌にはたくさんの美しい公園があります>

\*「〇〇 (施設 / 場所 / 部など) にある」という場合、動詞には **have** がよく使われる。

<例> My city **has** three big libraries. (私の市には3つの大きな図書館があります)

## Lesson 10-2: 様々なフレーズ⑧

### 1. on the street = 通りに (を) / 道に (を)

<例> Please walk on the street. <通りを歩いてください>

#### 〔補足説明〕

「道の上にいる」というイメージなので、前置詞は **on** が使われる。street は「通り」という意味。on this street / on that street のように、the の代わりに this / that などもよく使われる。また、「〇〇通り」のように名前がついている場合、基本的に 〇〇 Street と street も大文字になる。

<例> The library is not on this street. <図書館は、この通りにあります>

My school is on Kanda Street. <私の学校は、カンダ通りにあります>

in the street という表現も使われることがあるが、in the street とすると「道路の真ん中」を指すこともあるので注意。

### 2. 文, right? = 文でしょ? / 文だよね? / 文ですよ?

<例> That is Mr. Smith, right? <あれは、スミス先生ですよ?>

#### 〔補足説明〕

何かを確認したりする時に使われる表現。

### 3. the same (〇〇) = 同じ (〇〇)

<例> It is the same color. <それは同じ色です>

#### 〔補足説明〕

基本的に何と同じか限定されるため、the がつく。

### 4. take off = (服 / 帽子 / 靴などを) 脱ぐ

<例> Please take off your shoes here. <ここであなたの靴を脱いでください>

## 5. nowadays = このごろ / 近ごろ / 最近

<例> They don't teach English nowadays. <彼らは、最近英語を教えていません>

### Lesson 10-3: 一般動詞の否定文② (he / she / it / this / that)

主語が he / she / it / this / that の際の、一般動詞の否定文は、主語が I / you / we / they の一般動詞の否定文と似ているのですが、2点注意しないとイケない点があります。

1. do not (don't) を **does not (doesn't)** にする。
2. 一般動詞を**原形にする** (=一般動詞についている s/es を取る)

#### 【一般動詞の否定文② (he / she / it / this / that) : 基本の形】

**He**

**She**

**It** + **does not (doesn't)** + 一般動詞の原形 (+目的語) (+～) .

**This** (○○)

**That** (○○)

<例> He does not (doesn't) run every morning. (彼は、毎朝は走りません)  
My dog does not (doesn't) like this ball. (私の犬はこのボールが好きではないです)  
She does not (doesn't) live in \*the U.S. (彼女はアメリカに住んでいません)

\*アメリカという場合、America / the U.S. / the USA などいろいろな言い方がある。

#### 【一般動詞の否定文② : 作り方】

- ステップ1: **肯定文**を作る。
- ステップ2: 動詞の前に **does not** (または **doesn't**) を足す。
- ステップ3: 一般動詞を**原形に戻す** (= s/es を取って、**元の形に戻す**)。

<例: 彼は、毎朝は走りません>

ステップ1: 肯定文を作る。 → 彼は毎朝走ります。

\_\_\_\_\_ He runs every morning.

ステップ2: 動詞の前に **does not** (または、**doesn't**) を足す。

\_\_\_\_\_ He **does not (doesn't)** runs every morning.

ステップ3: 一般動詞を**原形に戻す** (= s/es を取って、**元の形に戻す**)。

\_\_\_\_\_ He does not (doesn't) **run** every morning.

## Lesson 10-4: 一般動詞の疑問文② (he / she / it / this / that)

一般動詞の疑問文②は、基本的な形は主語が **I / you / we / they** の時と同じです。ただし、**Do ~?** の形ではなく、**Does ~?** の形になります（この際、肯定文の時に一般動詞についていた **s** や **es** は、なくなるので注意しましょう）。

### 【一般動詞の疑問文② (he / she / it / this / that) : 基本の形】

he  
she  
**Does** + **it** + 一般動詞の原形 (+目的語) (+~) ?  
this (○○)  
that (○○)

\*疑問文の先頭にある Does は「する」という意味の do とは違うので注意。

<例> Does he like tennis? (彼はテニスが好きなのですか)  
Does Ikumi drink coffee every morning? (イクミは毎朝コーヒーを飲むのですか)

### 【一般動詞の疑問文② : 作り方】

- ステップ1: 一般動詞の「肯定文」を作る。
- ステップ2: 文頭に **Does** を足し、最後を **?** にする。
- ステップ3: 一般動詞についていた **s/es** を取る。

<例1: 彼はテニスが好きなのですか>

ステップ1: 一般動詞の「肯定文」を作る。 → 彼はテニスが好きです。

He likes tennis.

ステップ2: 文頭に **Does** を足し、最後を **?** にする。

Does he likes tennis?

ステップ3: 一般動詞についていた **s/es** を取る。

Does he like tennis?

<例2: イクミは毎朝コーヒーを飲むのですか>

ステップ1: 一般動詞の「肯定文」を作る。 → イクミは毎朝コーヒーを飲みます。

Ikumi drinks coffee every morning.

ステップ2: 文頭に **Does** を足し、最後を **?** にする。

Does Ikumi drinks coffee every morning?

ステップ3：一般動詞についていた s/es を取る。

Does Ikumi drink coffee every morning?

**【疑問文の答え方】**

答え方は、基本的に Yes / No の2種類。

Yes, 代名詞 does.

No, 代名詞 \*doesn't.

\* doesn't を使うのが一般的だが、does not と分けることも可。

Does ~? なので、does で答える。

do で答えないように注意。

<例> Does he play soccer?

Yes, he do. =×

<例1>

Does he like tennis?

はい → Yes, he does.

いいえ → No, he doesn't. (No, he does not.)

<例2>

Does Ikumi drink coffee every morning?

はい → Yes, she does.

いいえ → No, she doesn't. (No, she does not.)

**Lesson 10-5: 様々なフレーズ⑨**

1. 名詞, ~ ~ = 名詞の ~ ~

<例> She is my sister, Kayoko. <彼女は私の妹のカヨコです>

〔補足説明〕

カンマが使われない場合もある。また“名詞, ~ ~”の後にカンマを打ち、文を続けることもある。

<例> My sister Kayoko is tall. <私の妹のカヨコは背が高いです>

My sister, Kayoko, is tall.

2. member of ~ = ~ のメンバー / ~ の会員 / ~ の一員

<例> He is a member of our soccer team. <彼は私たちのサッカーチームのメンバーです>

### 3. be proud of ~ = ~ を誇りに思う

<例> I am proud of my mother. <私は、母を誇りに思います>

#### 【補足説明】

of の後に代名詞が入る場合は、目的格 (me / you / us / them) が入る。

<例> I am proud of them. <私は彼らを誇りに思います>

### 4. here (副詞) = ここに / ここで    there (副詞) = そこに / そこにで / あそこに / あそこで

<例> We cannot go there. <私たちは、そこにいきません>

#### 【補足説明】

here / there は、副詞なので in / at / on といった前置詞は基本的につかないので注意。ただし、from のように、前置詞を足すことによって別の意味が足される場合、前置詞をつけることが可能。

<例> We cannot go from there. (私たちはそこからは行きません)

また、2つ以上「副詞」「副詞句 (every day など副詞として働くフレーズ)」が足される場合は、決まったルールはないですが「場所」→「時」の順番で足されることが多いです。

<例> We go there every day. (場所 → 時)

## Lesson 10-6: 疑問詞⑥ (What ○○)

ここでは「何の○○」という意味の What ○○について学んでいこうと思います。

### 【What ○○ : 基本の形】

#### What ○○ + 疑問文？

(何の○○が、～ですか)

<例> What animal do you like? (何の動物があなたは好きですか)

What color can I use? (私は何色を使うことができますか)

What time do you \*get up? (あなたは何時に起床しますか)

\*get up = 起床する / 起きる

### 【ポイント！】

#### 1. ○○が可算名詞の場合は、使われるのは、単数形？複数形？

What ○○の、○○の部分に可算名詞が入る場合、単数形と複数形の両方を入れることができます。違いは「単数形 = 1つの答えを想定している場合」「複数形 = 複数の答えを想定している場合」となります。

<例> 何のスポーツが、あなたは好きですか。

What sport do you like? <答えが1つだと考えている> → I like soccer.

What sports do you like? <答えが複数だと考えている> → I like soccer and baseball.

## 2. What time is it in ○○? で「○○は、何時ですか」という意味になる

What time is it in ○○? という表現を使うと、相手のいる場所の時間をたずねることができます。また、答える時は、It is ~. となります。時間をたずねる際は、主語に地名ではなく、it が使われるのが大きなポイントとなります。

<例> A: 日本は何時ですか。 B: 9時です。

A: What time is it in Japan? (What time is Japan? = ×)

B: It is \*9:00. (時間自体をきいているので、at はつかない。at 9:00 だと「9時に」となる)

### 【疑問詞を使った疑問文の作り方】

ステップ 1: 「何の○○」の部分に「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を **What ○○** にする

ステップ 3: What ○○を**文の先頭**に持ってくる。

<例：何の動物があなたは好きですか>

ステップ 1: 「何の○○」の部分に「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

「何の動物」の部分「**犬**」に変える → 「あなたは、**犬**が好きですか」

Do you like **dogs**?

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を **What ○○** にする。

dogs → **what animal** にする。

Do you like **what animal**?

ステップ 3: **What ○○** を文の先頭に持ってくる。

**What animal** do you like?